

ナツエビネ

Calanthe puberula Lindl.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

里地・里山の林床に生える。県内の生育地では株が点々としており、エビネと比べ小群落になっている。生育環境の変化、園芸目的の採取による影響が強く、個体数が減少する可能性がある。

種の特徴

里地・里山の林床に生える根部は偽球茎が球形になる。葉の数は3～5枚が地際から生え、長さ10～30cm、幅3～5cmの狭長楕円形で、先端は鋭尖頭で、表面は縦筋が多い。花茎は長さ20～40cmになる。基部の葉腋から直立し、10～20個の淡紫色から淡緑紫色の変化ある花を総状につけ、下方か

分 布

本州～九州に分布。県内では里地・里山の林床に生える。嶺北の一部の地域、嶺南の一部の地域に分布している。

生育を脅かす要因

生育地の環境悪化、道路工事、園芸目的の採取等。シカ食害。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○					○

ギンラン

Cephalanthera erecta (Thunb.) Blume
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

海岸～里地・里山の林床の日陰に生える。県内では株が点々としており、群落になっていることは少ない。森林開発など生育環境の変化で個体数の減少がみられる。

種の特徴

海岸～里地・里山の林床の日陰に生える。細長い楕円形の葉は長さ3～8cm、幅1～3cmで、葉先は鋭くとがり、基部は茎を抱く。葉に毛はない。葉数は3～6枚。花茎は長さ10～20cmになる。白色の花を茎先に数個つける。

分 布

本州～九州に分布。県内では落葉広葉樹林の林床に生える。嶺北の一部の地域、嶺南の一部の地域に分布している。

生育を脅かす要因

生育地の環境悪化、道路工事等により生育地が減少している。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○	○	○	○	○		○	○	○			○	○

キンラン

Cephalanthera falcata (Thunb.) Blume
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内の生育地では株が点々としており、群落になっていることは少ない。森林開発など生育環境の変化で個体数の減少がみられる。

種の特徴

海岸から里地・里山の明るい林床に生える。茎は高さ30～50cmになる。茎には稜があり、黄色の花を茎先に3～10個つける。花期は5～6月。葉数は5～8枚互生し、長楕円状披針形の葉は長さ10cm、葉先は鋭くとがり、基部は茎を抱く。縦方向にしわが多い。

分 布

本州～九州に分布。県内では落葉広葉樹林の林床に生える。嶺北の一部の地域、嶺南の一部の地域に分布している。

生育を脅かす要因

生育地の環境悪化、道路工事等により生育地が減少している。園芸目的の採取により、自然状態での個体数の減少に追い打ちがかかっている。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○